

芸術

科目名			
音楽Ⅱ			
履修条件			
・音楽Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	済	900円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○（授業内で年3回実施）	○	×	⑦
<p>【紹介】 音楽Ⅰで学んだことから、更に幅を広げて様々な分野について学習します。 歌唱では、多様なジャンルの楽曲に取り組み、独奏だけではなく、デュエットや少人数のアンサンブルを通して技術、表現ともに高めます。 器楽では、アルトリコーダー、ウクレレの弾き歌いに取り組みます。 鑑賞では西洋音楽の様々な名作だけでなく、ミュージカル作品など舞台芸術について学びを深めます。 音楽理論では、音楽Ⅰよりも高度な内容を学び、楽譜から音楽を感じ取れる力を養います。 表現活動、鑑賞活動ともに欠席せずに積極的に取り組む姿勢が重要です。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・音楽Ⅰで学習した内容を理解、習得していることを前提に進めます。 ・実技試験はペアやグループを組んで実施することがあります。 ・人前で発表する場面があります。</p>			

科目名			
美術Ⅱ			
履修条件			
・美術Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	済	4, 500円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩
<p>【紹介】 「美術Ⅰ」で学んだ基礎的な技能や知識をもとに、さらに創造的な表現力と鑑賞の力を伸ばし、多様な表現を工夫する力を養います。絵画彫刻からデザイン工芸、映像メディア表現まで幅広く学びます。美術系進学を考えている生徒は、作品数を増やすという点でもお勧めです。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠席日数が少ない生徒が好ましいです。 ・美術Ⅲを履修したい生徒は必ず履修してください。 ・美術系以外にも、保育系やデザイン系（建築）、服飾系の人、進学先で絵を描く機会があるという点と創造力を磨くという点から履修を勧めます。</p>			

芸術

科目名			
工芸Ⅰ（選択）			
履修条件			
・工芸Ⅰを履修していないこと。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	済	4, 500円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩
<p>【紹介】 使用する人や場などに求められる機能と美しさを考えながら作品づくりに取り組む授業です。 籠作り、革工芸、陶芸、彫刻作品等様々な素材を使った実際に使える工芸品を作ります。物を作ったり、デザインすることが好きな人、手先を動かすのが好きな人、じっくりと作業に取り組める人は是非履修してください。 全体的に繰り返し作業が多い授業です。特に籠作りは繰り返しの作業が多いです。また、手先を使う細かい作業も多いです。オリジナルの絵をかいたりデザインしたりする作業もあります。カッターや糸のこ、彫刻刀、やすり等、多くの道具を使い作品を作ります。革工芸では針で縫う作業等もあります。 美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くしておいて下さい。 ・刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。 ・繰り返し作業や細かい作業、丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。</p>			

科目名			
工芸Ⅱ			
履修条件			
・工芸Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2, 3	済	5, 000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩
<p>【紹介】 工芸Ⅰで学んだ技能や知識を生かし、造形的な美しさや工芸の働きなどについて考えながら、意図に応じた制作方法を学びます。 籐工芸による籠作りや、金属や木工による彫刻作品、革工芸による作品作りを行います。使いやすく、かつ美しい工芸品制作を目指します。 繰り返し作業や手先を使う細かい作業が多い授業です。根気強く作業ができる人に向いています。 美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】 ・染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くしておいて下さい。 ・刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。 ・繰り返し作業や細かい作業、丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。</p>			

芸術

科目名			
書道Ⅱ			
履修条件			
・書道Ⅰを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	2,3	済	4,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	○	⑨⑩
【紹介】 書道Ⅰで学んだ技能や知識を活かし書の技能の応用的な内容を学びます。また、楷書・行書・草書に加え篆書・隸書での臨書や創作を行います。また、篆刻で落款印を作り作品作りに活かします。そして、注目すべき書道展・美術展に行き、作品の世界を実体験します。			
【履修上の注意】 実技科目です。授業への取り組み・実技課題毎の作品製作・振り返りシート等の提出物・理論問題小テストから成績を出します。			

科目名			
工芸Ⅲ			
履修条件			
・工芸Ⅱを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	済	5,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩⑬
【紹介】 工芸Ⅱまでで学んだことを通し、生活文化と工芸との関わりを考えながら、創造的な作品作りに取り組みます。工芸Ⅱまでに学んだ素材とは異なり、樹脂や金属、木製マグカップなどの新たな素材を用いた制作等を行います。 美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。			
【履修上の注意】 <ul style="list-style-type: none"> ・染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くしておいて下さい。 ・刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。 ・繰り返し作業や細かい作業や丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。 ・専門性の高い作業が多いため、作業ごとに細かな締切があります。見通しをもって制作を進められる人が望ましいです。 ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。 			

芸術

科目名			
美術Ⅲ			
履修条件			
・美術Ⅱを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	済	4,500円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	×	⑦⑨⑩⑬
<p>【紹介】</p> <p>美術Ⅰ、美術Ⅱの学習を踏まえ、美術Ⅲで必要な発展的能力をさらに深めます。基礎を大切にしつつ、作品制作や鑑賞することを通じて作家および自分自身の個性や獨創性について考え、発想・構想する力を伸ばし、様々な技法を学び、自分らしい美術作品について追求します。</p> <p>美術系進学を考えている生徒はもちろん、美術作品制作が好きな人、今後の趣味にしたい人、発想力を磨きたい人はぜひ履修してください。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠席日数が少ない生徒が望ましいです。 ・授業中に人前で完成作品の発表をすることがあります。 			

科目名			
書道Ⅲ			
履修条件			
・書道Ⅱを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	済	4,000円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
×	○	○	⑨⑩
<p>【紹介】</p> <p>書道Ⅰ・Ⅱで学んだ五書体を基本にし古典作品の臨書と創作を体験をする。篆刻の歴史を学び自作品を彫る。書による多様な自己表現を体験する。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <p>実技科目であるので、臨書・創作など作品製作が中心となります。大型の作品など書道室での作業が重要です。授業の時間を有効に使いましょう。</p>			

芸術

科目名			
音楽Ⅲ			
履修条件			
・音楽Ⅱを履修していること。			
単位数	対象年次	帯	R6年度教材費参考
2	3	済	900円
定期試験（授業内を含む）の有無	実技課題の有無	校外学習の有無	進路
○（授業内年3回実施）	○	×	⑦
<p>【紹介】</p> <p>音楽Ⅰ、Ⅱで学んだことから、更に幅を広げて様々な分野について学習します。 歌唱では、多様なジャンルの楽曲に取り組み、独奏だけではなく、デュエットや少人数のア・カペラに挑戦し技術、表現ともに高めます。 器楽では、アルトリコーダー、ウクレレの弾き歌いに取り組みます。 鑑賞では西洋音楽の様々な名作だけでなく、ミュージカル作品など舞台芸術について学びを深めます。 音楽理論では、音楽Ⅱよりも高度な内容を学び、楽譜から音楽を感じ取れる力を養います。 表現活動、鑑賞活動ともに欠席せずに積極的に取り組む姿勢が重要です。</p>			
<p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅰ、Ⅱで学習した内容を理解、習得していることを前提に進めます。 ・実技試験はペアやグループを組んで実施することがあります。 ・人前で発表する場面があります。 			